

# 学校だより

学校評価臨時号

令和8年 2月13日 発行

新潟県立高田特別支援学校

上越市寺町 1-15-44

電話 025(524)6461

令和7年度 学校評価（年間）アンケートの結果をお伝えします。



2学期末に実施いたしました学校評価（年間）アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。各学部、寄宿舎並びに学校全体の取組状況について保護者の皆様よりたくさんの御意見をいただきました。いただいた御意見と、職員アンケートの結果を受け、職員で検討し、それぞれ「よい点」、「要望や改善すべき点」についてまとめました。

## 学校全体の取組

### <よい点>

- 保護者の方からは、学校の取組に対し全体的に肯定的な評価をいただくことができた。「楽しく学校に通うことができている」、「おたよりや連絡帳で学校の様子がよく分かる」などのご意見をいただいた。
- 職員からは、「保護者や地域の声に対して誠意をもって対応した」点で評価が高く、保護者の方からも高い評価をいただいた。今後も、保護者や地域の方からの相談やご意見など、様々な声に耳を傾け誠心誠意対応していく。
- 日々の授業では、ICT を活用することでより分かりやすい授業になるよう工夫したり、校外学習や総合学習などを通して地域とつながる活動に取り組んだりする職員が多かった。

### <要望や改善点>

- △施設・設備に関しては、老朽化、教室不足、駐車場不足などについて、複数のご意見をいただいた。
  - 駐車場については、今年度、歩行者が歩きやすいよう線を引いたり、横断歩道を設置したりすることで、狭い構内でも安全が確保できるよう工夫した。駐車スペースの確保については、来年度、登校時刻を5分早くして受け入れ時間を長くしたり、学年保護者会を学部ごとに設定したりするなど、車が集中しないよう工夫していく。教室の不足については、今後も学部ごとに棟を分けることは難しく、学校全体で柔軟な活用を行っていく必要がある。施設・設備の老朽化に対しては、優先順位を考えながら修繕を進めていく。
- △寄宿舎職員からは、舎のWi-Fi環境について改善を望む声が多かった。
  - 寄宿舎のWi-Fi環境の整備やタブレットの導入など、引き続き県へ要望を挙げていく。そのためには、総務部が中心となり、寄宿舎会議で議題にするなど、舎の総意としての具体的な活用の見通しをまとめる。
- △校内連携・一貫について、学部を越えたより一層の連携を望む声が複数あった。
  - 中間評価を受け、夏休みと2学期の計2回、学部を越えた職員の「おしゃべり会」を設定した。実施後、「おしゃべり会」に対する好意的な反応が多く、学校課題を把握し全職員で解決策を考える貴重な時間であった。来年度も、学校評価を生かす場として、「おしゃべり会」を2回設定する。

## 小学部

### <よい点>

- 3つの重点項目すべてにおいて、すべての職員が支援の工夫をして取り組むことができ、児童たちの変容や成長を実感できた。児童一人一人の目標を学級・学年で共通理解し、実態に合わせた教具や方法を工夫して年間を通じて取り組んできた成果と考える。
- 特に、「掃除や身の回りの整理の技能を身に付けるための支援の工夫」がよくなされた。一人一人が技能を身に付けられるよう、児童の実態に合わせた方策を学級の職員全員で話し合い取り組んできた成果が表れたと考える。
- 保護者の方からもすべての項目において良い評価をいただき、互いの情報交換が密にできたと感じる。「学校で身に付いた挨拶や身の回りのことが、家庭でもできるようになった。」という嬉しい声も複数いただいた。今後とも家庭と課題を共有しながら連携して支援にあたっていきたい。

### <要望や改善点>

- △「日常生活に必要な基本的な生活習慣や生活動作を身に付けること」について、定着が難しかったと感じる職員が多かった。学年ごとの話し合いを設け、「目標を絞り、スモールステップで設定する」「学級職員全員で児童一人一人の目標を共有し、継続した支援にあたる」ことなどを確認した。また、良い実践例を学部全体で共有し、今後の取り組みに生かせるようにした。

## 中 学 部

### <よい点>

- どの項目においてもA、B評価が多く職員の日々の取組と丁寧な支援が生徒達の成長につながった。具体的には、学級の取組として「日常生活を営み社会生活を目指すための基礎となる知識や技能を身につける」ため、爪や洗顔等の衛生チェック表を作成しセルフチェックをすることにより意識や実践力が高まった、また「自分が役に立っていることを実感できるような振り返りの場」として、帰りの会の場面で仲間の頑張りを発表しお互いに認め合う場面を設定した等があげられた。
- 保護者の方からは、全ての項目において昨年度より高い評価を頂いた。日頃より保護者の皆様とお子さんの課題について密に連携した支援を行い、成果や成長を共有することができた結果と考える。
- 「社会自立に向けた進路学習や様々な場面での役割の設定」については、作業学習や学習発表会の作業製品販売を参観された保護者から、生徒たちの挨拶や報告、援助要求の仕方がよく、社会に出たときに役立つコミュニケーションスキルが育っている、販売のときに自分の役割に取り組む姿勢や態度が良かった、などの良い評価をいただいた。引き続き、将来に向けて自立を目指した指導を継続していきたい。

### <要望や改善点>

- △中学部の生徒と高等部生徒との動線が重なりトラブルがあったことについて、職員から「棟を分けてほしい」「日常的な関わり方の原則を決めておくとよい」との意見があった。  
→棟を分けることに関しては、昨今の状況から限りなく難しい。関わり方については、生徒指導部と連携してルールを検討し、高等部の職員の皆さんと共有したい。

## 高 等 部

### <よい点>

- 「就労に向けたルール・マナー・コミュニケーションスキルを身に付けること」について、生徒の実態に応じた指導や支援を工夫した。保護者からは「金曜日に困ったことを聞いてくれる時間がある。」「精神的に不安定になったときに、親身になって接し、本人が話しやすいような場面を作ってくれた。」「気持ちを伝えられるように絵カードを作ってくれた。」などの声をいただいた。
- 「日常生活を営み、社会参加するために必要な知識や技能を身に付けること」について、校外学習で、公共交通機関を利用したり、買い物の支払いの練習をしたり、実際に体験する機会を設けた。保護者からもよい評価をいただいた。

### <要望や改善点>

- △アンケートの回答にあたって、「自分の子供が何コースか分からない」とのお問い合わせが数件あった。  
→家庭連絡簿に記載してある、周知が足りなかったと思われる。個別面談などで担任より保護者へ明確にお伝えする場を設けたり、おたより等でコースごとの学習の様子をお伝えしたりしていきたい。

## 寄 宿 舎

### <よい点>

- 「起床、洗面、着脱、食事、排泄、入浴、就寝等の個々の課題に応じた指導方法を工夫した」について、手順表を作成したり支援ツールを工夫したりし、場面を捉えた指導を継続することが成果として表れ、保護者の方からも「一人で頭や体を洗えるようになった」「入浴時の目標をしっかりと立ててもらっている」など、良い評価をいただいた。引き続き将来の生活に必要な技能を身に付けられるよう家庭と協力し支援していく。
- 「挨拶の場を明確にし、繰り返し指導した」について、トークンやメダルを活用し繰り返し指導してきたことで、自発的な挨拶ができる舎生が増えた。保護者からも「あいさつが素晴らしい」との声が聞かれた。

### <要望や改善点>

- △「運動する場を設定した」について、職員の評価点が低かった。  
→運動については一部の舎生のみ活動が多かった。早い下校の日なども利用して体を動かす活動を意識して取り入れていきたい。

## 令和7年度学校評価 保護者アンケートの結果（評価点）

◆評価点は、A（そう思う）・B（どちらかと言えばそう思う）・C（どちらかというと思わない）・D（そう思わない）をそれぞれ4点・3点・2点・2点・1点に換算し、その平均を表しています。当校では、3.5点以上の評価点をいただくことを目標とし、到達できなかったものについては、改善に努めてまいります。

### 【主に運営活動に関する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標・方針	①グラウンドデザインにある教育目標や、学部の目標は、子供の実態や保護者の願いに合ったものである。	86人	52人	0人	0人	138人	3.62
お子さんの様子	②お子さんは楽しく（充実した）学校生活を送っている。	104人	28人	6人	0人	138人	3.71
	③お子さんを本校に入学させて良かった。	116人	19人	3人	0人	138人	3.82
校内連携・一貫性	④学校は、一人一人の将来の生活や小中高のつながりを意識して、適切な目標を立てたり、必要な学習を行ったりしている。	93人	44人	1人	0人	138人	3.67
	⑤学年間や学部間、学校・寄宿舎間で情報が共有され、連続性や一貫性のある指導が行われている。	89人	46人	3人	0人	138人	3.62
専門性向上	⑥職員は、お子さんの障害について理解し、その特性をふまえた適切な指導や支援に努めている。	103人	31人	4人	0人	138人	3.72
地域・外部関係機関との連携	⑦各種たよりや授業・行事参観、ホームページ等による情報発信で、学校の取組や子供の様子がよく分かる。	102人	34人	2人	0人	138人	3.72
	⑧学校は、交流および共同学習や居住地校交流（小・中学部のみ）の実施、地域資源の活用を積極的に行っている。	76人	54人	7人	1人	138人	3.49
	⑨職員は、保護者や地域に対して誠意をもって対応している。	105人	31人	2人	0人	138人	3.75
施設・設備	⑩学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている。	57人	61人	16人	4人	138人	3.24
いじめ対応	⑪学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	88人	48人	2人	0人	138人	3.62

### 【小学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
<b>目標1</b>	<b>身近な人に挨拶をしたり、自分の気持ちを伝えたりする力を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	①場に応じた挨拶ができるようにするための働きかけや支援の工夫を行った。	44人	5人	0人	0人	49人	3.90
	②感謝や依頼など、自分の気持ちを伝えたり、友達とやりとりしたりする場を意図的に設けて指導した。	44人	5人	0人	0人	49人	3.90
<b>目標2</b>	<b>日常生活に必要な基本的な生活習慣や生活動作を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	③食事や排泄、衣服の着脱などの技能を高めるための支援を工夫した。	43人	6人	0人	0人	49人	3.88
	④学習や給食などの準備や片付けの場面を、意図的に設けて指導した。	46人	3人	0人	0人	49人	3.94
	⑤掃除や整理整頓の技能を身に付けるための支援を工夫した。	44人	5人	0人	0人	49人	3.90
<b>目標3</b>	<b>自分の仕事分かり、進んで取り組む力を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	⑥児童一人一人の仕事を明確にし、その内容や方法を理解できるようにするための支援を工夫した。	43人	6人	0人	0人	49人	3.88
	⑦自己有用感を高めるための評価・称賛を工夫した。	44人	5人	0人	0人	49人	3.90

### 【中学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
<b>目標1</b>	<b>集団生活で必要とされるルールやマナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	①挨拶や年齢に応じた人との関わり方を学ぶ場を計画的に設定した。	36人	7人	1人	0人	44人	3.80
	②話の聞き方や意思表示の仕方、依頼や報告の仕方を段階的に指導した。	36人	8人	0人	0人	44人	3.82
	③時間やルールを意識できるようにするための視覚支援や指導場面を工夫した。	36人	8人	0人	0人	44人	3.82
<b>目標2</b>	<b>日常生活を営み社会参加を目指すための基礎となる知識や技能を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	④身辺処理や身だしなみ、整理整頓に関する的確な実態把握と、それに基づく日常的な指導を行った。	36人	8人	0人	0人	44人	3.82
	⑤買い物や交通機関、各種施設の利用等に関する技能を体験的に学ぶ場を設定し、段階的に指導した。	37人	7人	0人	0人	44人	3.84
<b>目標3</b>	<b>自分の役割を自覚し、責任をもって仕事をやり遂げる力を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	⑥社会自立に向けた進路学習や様々な場面での役割を設定した。	35人	9人	0人	0人	44人	3.80
	⑦見通しがもてるようにするための視覚支援や、自分が役に立っていることを実感できそうな振り返りの場を工夫した。	35人	9人	0人	0人	44人	3.80

**【高等部に対する評価】**

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
<b>目標 1</b>	<b>就労に向けたルール・マナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	①A:職員は、集団生活に必要なコミュニケーションスキル（挨拶・意思表示）ができるようにするための日常的な指導と支援を工夫している。	6人	5人	0人	0人	11人	3.55
	②B・C:職員は、集団生活に必要なルールやマナーを守って学校生活を送ることができるようにするために、日頃から指導や支援を工夫している。	21人	13人	0人	0人	34人	3.62
	③B・C:職員は、お子さんが時や場面に応じて他者と適切な関わり方ができるよう、日頃から指導や支援を工夫している。	21人	11人	2人	0人	34人	3.56
	④B・C:職員は、相手を意識した話の聞き方や、適切な意思表示の仕方ができるようになるための、場面設定や支援を工夫している。	11人	10人	1人	0人	22人	3.45
	⑤B・C:職員は、困ったときに助けを求められるようにするための、場面設定や支援を工夫している。	21人	10人	3人	0人	34人	3.53
<b>目標 2</b>	<b>日常生活を営み、社会参加するために必要な知識や技能を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	⑥A・B・C:職員は、衣食住に関する実践的な力を身に付けるための学習活動や実践場面を工夫して指導している。	21人	23人	1人	0人	45人	3.44
	⑦A・B・C:職員は、買い物や公共交通機関、各種施設の利用に関する技能を体験的に学ぶ場を設定している。	22人	23人	0人	0人	45人	3.49
	⑧C:教師は、お子さんが社会人・成人として必要となる基本的な知識や力を身に付けるための学習活動を設定している。	8人	4人	0人	0人	12人	3.67
<b>目標 3</b>	<b>自分の役割に責任をもち、働き続ける力を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	⑨A・B・C:職員は、社会の一員として自分の役割を果たせるように、学級の諸活動や作業学習等の場面における役割を設定している。	24人	21人	0人	0人	45人	3.53
	⑩A・B・C:職員は、お子さん自身が課題を意識できる目標設定を行っている。	22人	22人	1人	0人	45人	3.47
	⑪A・B・C:職員は、お子さんがやりがいを実感できるような活動を設定し、振り返りを行うなど工夫して取り組んでいる。	23人	21人	1人	0人	45人	3.49

**【寄宿舎に対する評価】**

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
<b>目標 1</b>	<b>集団におけるルールやマナーを身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	①挨拶の場を明確にし、繰り返し指導した。	44人	13人	0人	0人	57人	3.77
	②人と話すときの適切な距離や言葉遣いに関して機会を捉えて指導した。	42人	15人	0人	0人	57人	3.74
	③共同生活におけるマナーや身だしなみの定着に向けて支援した。	44人	13人	0人	0人	57人	3.77
<b>目標 2</b>	<b>将来の生活に必要な技能を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	④起床、洗面、着脱、食事、排泄、入浴、就寝等の個々の課題に応じた指導方法を工夫した。	44人	13人	0人	0人	57人	3.77
<b>目標 3</b>	<b>健康で規則正しい生活を送る力を身に付けることができた。</b>						
目標達成に向けた取組	⑤規則正しい生活の習慣化に向けた支援の工夫と保護者との連携を行った。	44人	13人	0人	0人	57人	3.77
	⑥一人一人の余暇活動の幅を広げたり深めたりするための活動を提示した。	37人	19人	1人	0人	57人	3.63
	⑦運動する場を設定した。	30人	24人	3人	0人	57人	3.47

昨年度、全体の回答率が54.5%であったという結果を反省し、今年度は、締切前に改めて御案内するなど、回答率の増加に向けて工夫しました。その結果、87.9%の皆様から回答をいただくことができました。お忙しい中、アンケートに御協力いただき誠にありがとうございました。

教育活動においては、コロナ禍とプール改修工事を経て、数年ぶりに小・中学部の水泳授業を再開いたしました。児童生徒の安全を最優先し、落雷の危険性も考えての実施判断だったため、雨は降っていても中止せざるを得ない日が多くなってしまいました。しかし、条件が整った日には、子供たちの元気な声がプールに響いていました。

施設設備に関しては、今年度、寄宿舎の暖房設置、調理室のエアコン設置、校舎屋上雨漏りの修復、ポプラランドの表土入替え等を実施しました。御不便をおかけしている駐車場に関しては、横断歩道や歩行者通路を設置し、児童生徒、保護者の皆様が安全に通行できるよう改善いたしました。駐車スペースの不足については未だ厳しい状況ですが、学校行事の実施方法を工夫するなど、引き続き改善に努めて参ります。

年度当初、登校時間前受入についてアンケートを実施し、保護者の方の御要望を基に、関係機関と調整を図りましたが、実現は厳しい状況でした。希望された保護者の方には、直接説明させていただきましたが、全体への御報告が遅れましたことをお詫び申し上げます。

今後もお気付きの点がございましたら、随時お話を聞かせていただきますよう、お願い申し上げます。